

命令文のポイント

1. 命令文の原則 :主語がない →「動詞の原形」で文を始める！
2. 命令文には Please、Let's 、Don't を付けられる

1 命令文の基本

命令文「～しなさい」→「動詞の原形」で文を始める。

- ① 一般動詞の原形 ～. 〈一般動詞を使った命令文〉
- ② Be ～. 〈be 動詞を使った命令文〉 (am、are、is の原形は be)

Stand up. 「立ちなさい」

Open your textbook. 「教科書を開けなさい」

Be quiet. 「静かにしなさい」

Be a good boy. 「よい子になりなさい。→ いい子にしてね」

Be kind to others. 「他人には親切にしなさい」

Be careful. 「注意しなさい。」

2 丁寧な命令文

please がついた命令文

- ① Please + 動詞の原形 ～. / Please don't + 動詞の原形 ～.
- ② 動詞の原形 ～, please. / Don't + 動詞の原形 ～, please.

※ 文末に please をおくときは、直前にカンマ（,）をつける。

Please don't sit down. 「座らないでください」

Sit down, please. 「座ってください」

3 勧誘の命令文

Let's の文（相手を勧誘する文）

- ① Let's + 動詞の原形 ～. 「～しましょう。」
- ② Yes, let's. （はい、そうしましょう。） / No, let's not. （いいえ、よしましょう。）

4 否定の命令文

否定の命令文→「Don't + 動詞の原形」で文を始める。

- ① Don't + 一般動詞の原形 ～. 〈一般動詞の文〉
- ② Don't + be ～. 〈be 動詞の文〉

※ be 動詞の文でも、否定の命令文の時は、文頭に "Don't" をおく。

例外!

Don't open the window. 「窓を開けないで」

Don't be afraid. 「怖がらないで」

5 呼びかけがついた命令文

- ① 呼びかけ, 命令文 ～.
- ② 命令文 ～ , 呼びかけ.

※ 文頭, 文末のいずれかに呼びかける名前をおく。

※ 呼びかけとわかるようにカンマ (,) をつける。

Tom, study English every day. 「トム、毎日英語を勉強しなさい」 ← 命令文
カンマがついているので、Tom は呼びかけ。つまり主語がないので、命令文

Tom studies English hard every day. 「トムは毎日英語を勉強します」 ← 肯定文

6 命令文の書き換え

(1) 命令文 ⇔ 助動詞

Play the piano in this room. 「この部屋でピアノを弾きなさい」

= You **must** play the piano in this room.

(2) 否定の命令文 ⇔ 助動詞

Don't play the piano in this room. 「この部屋でピアノを弾いてはいけません」

= You **mustn't** play the piano in this room.

(3) 丁寧な命令文 ⇔ 助動詞

Please play the piano in this room. 「この部屋でピアノを弾いてください」

= **Will you** play the piano in this room ?

= **Can you** play the piano in this room ?

(4) 勧誘の命令文 ⇔ 助動詞

Let's play the piano in this room. 「この部屋でピアノを弾きましょう」

= **Shall we** play the piano in this room ?